

7-5

ホームページを用いた広報活動戦略

コンテンツの充実と視認性向上への取り組み

広報活動

ホームページ

特別養護老人ホーム 王子光照苑

事務職員 高橋純一

東京都北区王子3-3-1

TEL 03-3927-9851

E-mail takahashi@o-kousyoen.com

FAX 03-3927-9835

URL <http://www.o-kousyoen.com>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

王子光照苑は、昭和63年11月に開設し、質の高い介護サービスを目指し、平成14年に東京都23区内の特養としては初めて、国際品質標準規格である「ISO9001」の認証を取得しました。特養50床、短期入所2床、在宅通常規模型30名、認知症型12名（1日定員）、その他、支援センターや訪問介護事業も併設している、高齢者総合福祉施設です。

〈取り組んだ課題〉

- 王子光照苑の事業内容と事業経営に関わる透明性の開示
- ホームページに関わる用語、データ形式、およびソフトウェアの習熟
- 開示する情報の内容（コンテンツ）の模索
- サーバーの選択〈金額・容量〉
- ホームページのデザイン
- 効果的な配信

〈具体的な取り組み〉

- 広報委員会内に HP 作成推進係を置き、開示情報の内容およびサムネイルの作成とともに、費用の算出、予算を作成する。
- 契約するプロバイダの選定を行う。
- ホームページ関係の書籍を用いて、ホームページ作成に当たって、必要となる用語、データ形式を学習しながら、テストケースとしての HP を無料サーバーで作成・検討・修正を試みる。
- 文字と写真などの組み合わせやデータの大きさによる画面構成を繰り返し作成・改善を行う。
- ホームページのデータ容量、予算に即してレンタルサーバー会社を選択し、契約する。
- コンテンツの充実と効果的な配信
 - ・ ホームページ作成ソフトの検討
 - ・ ブログの活用
- 画面のデザインを検討
 - ・ トップページデザイン
 - ・ コンテンツにあった配置とデザイン
- 分析と見直し
 - ・ アンケートの導入

〈活動の成果と評価〉

- ホームページ作成に当たって、様々な情報収集および掲載記事の依頼を行うことで、携わった職員が介護保険制度をはじめとした、社会福祉を取り巻く環境について多くのことを学び、その知識を周知していくことができた。
- ホームページが存在が王子光照苑の持つ独自のメディアとしての認識が職員間で周知でき、それを利用することで広く外部にアピールし、第三者から高く評価された。
- ホームページからの求人応募および、ボランティア募集による問い合わせから、新規職員の採用やボランティアの増員を図ることができた。

〈今後の課題〉

- クリック募金など、広く社会福祉に貢献できるホームページにしていく。
- ホームページ上からの入所や見学の申し込み、ショートステイの予約ができるような実用的機能を作成し、集客率を上げるホームページにしていく。

〈参考資料など〉

- 特になし